

編集委員が
インタビュー!

表紙：働く人シリーズに寄せて

ピアノ調律師さん に伺いました

Q なぜ調律師になろうと思いましたか。

A ピアノが好きでピアノに関する仕事がしたいと思いました。その中でピアノの調律という仕事を知り、専門学校に通い資格を取りました。

Q ピアノはどれぐらいの頻度で調律しますか。

A 最低でも1年に1回はします。多い方では半年に1回、ピアニスト、音大生さんであれば3ヵ月に1回する方もいます。

Q 様々なピアノがある中で、調律の方法はどのピアノも共通ですか。

A 音を合わせる方法は基本的に同じです。100年前のピアノであっても調律は可能です。部品もほぼ同じものです。ピアノとは思いが入るもので、小さいころ祖父に買ってもらって、それがボロボロになって。買い換えた方が良かったけれど、やはり修理してくださいという方の中には沢山います。

Q やりがいや、やっていて楽しいことはありますか。

A お客様からピアノが生き返ったとか、変わったとか、弾きやすくなったとか、弾いてて楽しくなったとか、そういうお言葉を頂けることが一番嬉しいです。

Q 20年このお仕事をされていて取り巻く環境で変わったことは。

A 最近ではコロナの影響で個人の方が家に居る機会が多くなったので、調律の仕事は増えています。ずっと使ってなかったピアノを調律してほしいという依頼もありました。



市川 徹さん

市議会だよりは、ふじみ野市のホームページからも閲覧できます。
市議会の会議録も見られます。
録画放映やSNSもご覧ください。

ふじみ野市議会

検索



9月定例会の傍聴者は33人でした。

次の定例会の
開 会 予 定: **11月30日** 午前9:30~

請願締切予定: **11月19日** 午前10:00

市役所4階議場で開催します

議会広報常任委員会

委員長	加藤 恵一	副委員長	鈴木 美恵
委員	鈴木啓太郎	委員	金濱 高顕
委員	民部 佳代	委員	新井 光男
委員	床井 紀範		

表紙の題字を書いてくれた人 大井東中学校3年 生越 真子さん

ふじみ野



私の自宅の近くには国道254があり、沿道にはたくさんのお店があります。私も時々家族で食事に行きます。また、中央分離帯にある大きな桜の木が春には満開になりとてもきれいです。

編集後記

澄み切った秋空が美しい季節となりました。
緊急事態宣言も解除され、仲間とスポーツやコンサートを思い切り楽しみたいところですが、もう少しの間控えた方がいいのかと悩みます。

今秋も市内の体育祭・文化祭等が中止やオンラインになり、サークル活動も多くの団体が自粛傾向になっています。

文化芸術が市民のつながりの場となり、心の癒し、そして生きる力を与えてくれることを思うと、様々なイベントや活動が再び賑やかに開催されることを願ってやみません。

そして、孤立しがちな今こそ人との絆が感じられるような支援策が必要だと感じています。皆様のお声を市政に届け、皆様と一緒に考え、知恵と工夫でつながりの場を作っていきたいと思います。
(鈴木 美恵)